

務事業も見直しがされることになり、記帳・税務指導や地域活性化事業は、地方自治体の支援に委ねられることとされ、商工会に対する道の平成18年度補助金の大幅削減が決定されております。

また、商工会の指導体制の充実強化と職員の資質向上を図るため、道の財政建て直しプランとも歩調をあわせて、広域連携や合併に取り組みよう指導されております。

このような中、商工会では、道商工会連合会から山部商工会と占冠村商工会の三者で広域連携を取り組むよう指導され、この検討と併せて商工会事務局職員の削減や管理経費の削減、会費の増額、各種事業費の見直しなどが検討されております。

これらの諸情勢の大きな変化の中で、商工会の育成強化については、商工振興事業の予算を計上し、商工会の財政効率をより一層求める中で、経営指導や地域振興事業の取り組み、創業や経営革新といった分野でのリーダーシップの発揮を強く求めてまいります。

また、商工会の合併などについては、商工会の意思を尊重しつつ、町議会のご意見をいただく中で慎重に行政対応してまいります。

資金制度については、町融資および利子補給事業、経営安定特別資金貸付制度や創業支援のための商工業振興起業促進事業などに引き続き取り組んでまいります。

鉱業振興については、鉱業振興会へ引き続き支援するとともに、輸送車両の大型化に配慮し、町道幾寅鹿越線の整備を進めてまいります。

観光の振興

観光振興については、富良野美瑛広域観光推進協議会の取り組みと連動し、町内観光企業と連携を強め、観光客の増加を図り観光産業の振興に努めてまいりますとともに、観光施設の適正な管理運営による観光産業の底辺拡大を図ってまいります。

また、町内ラフティング産業の定着化を図り、第4次総合計画の落合地区「川の駅構想」の実現をめざして、企業や地域住民とともに身近な課

題から具体的な検討と行動をしてまいります。

観光協会については、会の運営や取り組みに対して、主体性を高めるため、事務局体制などの見直しを提案してまいります。

かなやま湖の内水面事業については、漁業権対象魚の「ワカサギ」と「ニジマス」については卵放流とし、ふ化養殖場はイトウの増殖に専念し、町特産品食材としての販売強化に努めてまいりますとともに、ニジマス販売は縮小してまいります。

振興公社については、設立



以来15年を経過し、これまで観光事業や公共施設の管理など多方面に渡り行政の補完業務を実施し、雇用創出や地域の活性化、産業の振興に大きな役割を果たしてまいりました。

一方で、施設管理部門や宿泊部門については、町財政事情による施設管理費抑制や業績の伸び悩みなどにより、大変厳しい経営状況となっております。今後の振興公社全体の運営に影響を及ぼすことから、国の地域振興アドバイザー派遣制度により、振興公社経営全般にわたり診断を受け、事業の改廃を含む「振興公社のあり方」について提言を受けるところであります。

これからの社会経済情勢の変化に対応し、振興公社の持続性を高めるため、この提言を基本的に受け入れる方向で、町議会や振興公社役員会のご意見をいただきながら、個々の課題と取り組みに対し適切に対処してまいります。

あんしんの南富良野

健やかな福祉のまち

健康・医療の充実については、町の健康づくり計画「健やかみなみふらの」に基づき、生活習慣病の予防として、南プミニドックの検査項目拡充と受診対象者の拡大を図り、ヘルシーアップ教室をより一層充実した内容で取り組んでまいります。

福祉の充実

福祉の充実については、先に重点施策で申し上げましたほか、高齢者福祉対策として生きがいデイサービスや配食サービス、除雪サービスなどの在宅福祉事業を引き続き推進してまいります。

社会福祉協議会に委託して

いる移送サービス事業については、利用者負担割合を現行1割から3割に見直し、町費助成を継続してまいります。

く子育てできる環境づくりのため、子育て支援センターの事業をはじめ、児童クラブへの活動支援、すきやき隊活動の推進や、ファミリーサポートセンター事業の一環としてエコマネーの試験流通など、教育委員会の家庭教育支援と連携し、子育て支援を積極的に進めてまいります。

子育て支援

子育て支援については、昨年度からスタートした「次世代育成支援地域行動計画」に基づき、町内で安心して楽し

介護保険事業については、先に重点施策で申し上げたほか、本年度から第3期介護保険事業計画により、65歳以上の第1号被保険者の保険料を改定すべく、本定例会に条例改正案を提出しております。

介護保険

いきいきの南富良野

学び楽しむ文化のまち

次に、次代を築く子ども達の学力向上や生きる力を育む教育の実践とあらゆる世代の人が、それぞれのライフスタイルにあわせて楽しく学び楽しむ文化の町をめざす、いきいきの南富良野「学び楽しむ文化のまちづくり」であります。

学校教育・生涯学習



急速に進む少子高齢化の中で、次代を担う子ども達の教育環境と高齢者が生きがいのある充実した生活を送る学習環境づくりは、成熟化社会においてとても重要であり、教育委員会の方針を尊重し、第4次総合計画の基本方針に沿った教育環境の充実に、より一層努めてまいります。

本年度、学校教育環境の整備では、落合小学校トイレの水洗化を実施いたします。更に、落合・下金山小学校校舎で以前に中学校の物置として利用されていた施設につ

いては、老朽化が著しく危険と判断し、解体撤去の予算を計上いたしました。

学校給食センターの整備については、完全給食を実施するために必要な調理機材の購入費など、所要の予算を計上いたしました。

南富良野高等学校では、三段階の「習熟度別学習」や「類型選択授業」に取り組み、生徒一人ひとりにきめ細かな指導と、アウトドアガイドや訪問介護士資格取得認定校の指定を受けるなど、地域性や時代の要請に応えるべく、個性的で特色のある学校づくりを進めております。

過疎化少子化の中で、学校運営の基本となる就学生徒の確保については、経済的支援の観点に立ち、本年度新たに通学費に対する助成を講じることにし、更に資格取得検定料に対しても助成するための予算を計上いたしました。

次に、少子・高齢化時代を迎え、住民一人ひとりが自立しながら互いに支えあい、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、生涯を通じた健康づくりをめざす、あんしんの南富良野「健やかな福祉のまちづくり」であります。

保健・医療の充実

保健・医療の充実については、町の健康づくり計画「健やかみなみふらの」に基づき、生活習慣病の予防として、南プミニドックの検査項目拡充と受診対象者の拡大を図り、ヘルシーアップ教室をより一層充実した内容で取り組んでまいります。

診療所の医療機器の整備充実を図るため、所要の予算を計上いたしました。

福祉の充実については、先に重点施策で申し上げましたほか、高齢者福祉対策として生きがいデイサービスや配食サービス、除雪サービスなどの在宅福祉事業を引き続き推進してまいります。

公民館図書の利用促進については、富良野沿線5市町村の広域連携の取り組みにより、蔵書の有効活用や充実など利用効果を高めるため、圏域市町村住民の相互利用を進めてまいります。

沖縄県本部町との交流は、平成8年の「友好の町」の盟約締結から10年目を迎え、子ども達の交流も15回を数えます。この間、子ども達は交流学習で見聞を広められ、ホームステイにより子どもを通じて大人の交流の輪も広がっております。今後、両町の「友好の町」の絆を深めることを確認しながら、引き続き町内児童の親善交流を実施してまいります。

文化講演会は、「防犯と交通安全の住民集会」と同日開催し、千里大学などの高齢者の学習活動も引き続き取り組んでまいります。